

香川県プランクトン情報（第36報）

令和3年8月18日発行

8月18日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】（調査事業名：貝毒プランクトン調査）

・貝毒の原因となる有毒プランクトン、アレキサンドリウム属が確認されました。

最高細胞密度は0.35細胞/mL(定点KA1)です。

・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ オバータが確認されました。

最高細胞密度は5.55細胞/mL(定点KA7)です。

・小型珪藻類は、主にキートセロス属が全調査点で確認されましたが低密度でした。

最高細胞密度は29.00細胞/mL(定点KA5)です。

・播磨灘沖合の表層水温は約25℃、表層塩分は約30～31の範囲で推移しています。

表：2021年8月18日 プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深(m)	旧アレキサン ドリウム・タマ レンセ	旧アレキサン ドリウム・カテ ネラ	アレキサン ドリウム属	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オーバータ	カレニア・ ミキモトイ	コクロディ ニウム・ ポリクリコ イデス
KA1	0	0	0	0.35	0	0	0.05	0	1.65
	10	0	0	0	0	0	0.05	0	0
KA2	0	0	0	0	0	0	0.05	0	1.20
	10	0	0	0	0	0	0	0	0.55
KA3	0	0	0	0	0	0	0	0.05	12.30
	10	0	0	0	0	0	0.30	0	1.90
KA4	0	0	0	0	0	0	0.15	0	2.30
	10	0	0	0	0	0	0	0	0.15
KA5	0	0	0	0	0	0	0	0.75	0.35
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	0	0.05	0	3.50
	10	0	0	0	0	0	0	0	0.30
KA7	0	0	0	0.10	0	0	5.55	0	13.30
	10	0	0	0	0	0	0.70	0	0.35
K1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.40
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	0	9.00
	10	0	0	0	0	0	0	0	0.80
K4	0	0	0	0	0	0	0	0.40	2.00
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	0	0.60
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0

* 試水は200mLを10mLに濃縮して、そのうち1mL中のプランクトンを計数しています(20倍濃縮)。

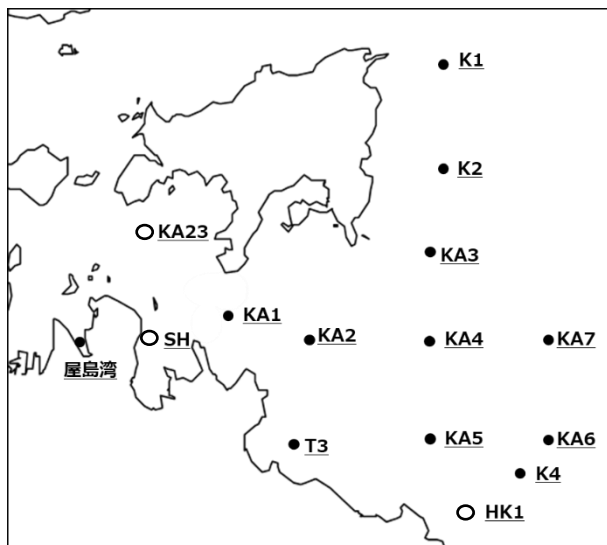
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:藤田・和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：貝毒プランクトン調査）



* 貝毒プランクトン調査は合計 12 定点(KA1～7、K1、2、4、T3、屋島湾)で行っています。

【参考】表：香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL